

子ども支援レポート⑥

ヤオコーでは、2020 年 9 月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス株式会社さまのご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始しました。2021 年 3 月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021 年 9 月より財団でこの活動を引継ぎました。2023 年 3 月からは公益財団法人となりましたが、これまで同様、毎月 1 回埼玉県福祉部および埼玉県社会福祉協議会のご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーと子ども食堂へ、お米をお届けしております。

お米の支援		配布エリア	個数	キログラム数	こども食堂	フードパントリー	配布団体の合計
20	2023 年 5 月	浦和市	100	500	7	5	12
21	2023 年 6 月	越谷市	100	500	16	9	25
22	2023 年 7 月	三芳町	100	500	14	13	27
23	2023 年 8 月	北本市	100	500	10	5	15



2023 年 5 月 浦和エリア 100 袋 500 ㍓

あいにくの雨でしたが、荷下ろし場所のさがみ典礼東浦和葬祭センターさんの車寄せをお借りすることができ、商品を濡らすことなくお渡しすることができました。

今回は、アサヒ飲料様の「カルピス」の寄付(885 本)もありました。

公益財団としてスタートした 5 月からは毎月のお米の数が定量になり、㍓数も 5 ㍓均一となったことで、どのエリアにも公平にお米を支援できるようになりました。

荷下ろしの際には、団体の方からも「5 ㍓均一の方が分けやすい」とのお話がありました。



2023 年 6 月 越谷エリア 100 袋 500 ㍓

今回は越谷流通市場にある拠点へお米をお届けいたしました。30～40 代の男性を中心に、意欲的に活動する方が多い拠点です。5 ㍓×100 袋になったことで数える手間が省け、素早く荷下ろし&配布ができるようになりました。

「継続的にこうした活動を続けてくださることが、何よりもありがたい。」と、団体の代表の方がおっしゃってくださいました。

年々、利用される(支援を受け取る側)登録者数も増えていますが、最近ではメディアでも取り上げられることが増え、ボランティア活動をされる側の参加も増えているようです。少しずつ、こうした輪が広がっていくのを実感します。



2023 年 7 月 三芳町エリア 100 袋 500 ㍑

天気にも恵まれ、今回は三芳町にある上坂塑性株式会社さんの駐車場をお借りし、お米 5 ㍑×100 袋をお届けしました。2020 年 9 月よりスタートしたお米支援も 3 年目となり、お届けする先々で顔なじみのボランティア団体の代表の方とお話することが増えました。年々利用する方の数や子ども食堂の登録数も増えているとのことで、「お米支援だけではなく、さまざま形での支援があると助かる」との声もあり、たくさんアイデアを出していただきました。



2023年8月 北本エリア 100袋 500㍑

快晴で暑さが厳しい中、北本市のきたもと子ども食堂さんの駐車場をお借りし、お米500㍑×100袋をお届けしました。

助成金があるときはすぐ近くのヤオコー北本中央店で買い出しをしてくださっていて「商品と一緒に運んでくれる時もあって助かります。」とおっしゃっていました。

各団体への仕分けの際には、手書きの「仕分けカード」を使用し一目で団体名と数量がわかる工夫をされていました。みなさまの協力のおかげでスムーズに配布することができました。